

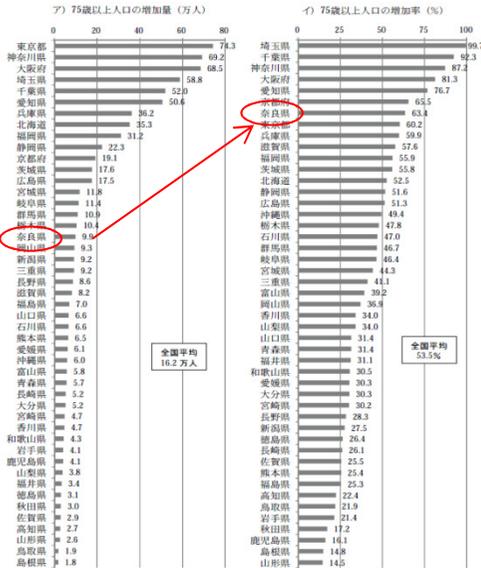
奈良県における福祉・介護人材の状況

資料3

1. 需要見込みについて

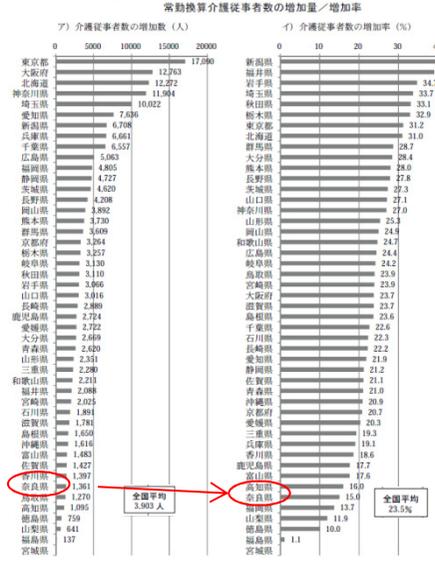
○奈良県においては、2010年から2025年には75歳以上の後期高齢者の増加率は63.4%であり、全国で7位となっている。
一方、介護従事者については、2006年から2011年の増加率については15.0%であり全国で42位となっている。

図表1-8 都道府県別みた2010年と2025年間の75歳以上人口の増加量/増加率



図表1-6～8の注出：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」2013.3

図表1-14 都道府県別みた2006年と2011年間の常勤換算介護従事者数の増加量/増加率



注：2011年の東日本大震災の影響のため、宮城県の常勤換算従事者数は12,719人（18.5%）のマイナスとなっている。
出所：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査（2006年、2011年）」より作成

図表1-7 都道府県別みた2010年と2025年間の年齢階級別人口の変化

	65-74歳				75歳以上			
	人数(人)		変化率	順位	人数(人)		変化率	順位
	2010	2025			2010	2025		
全国平均	325,320	314,635	-3.3	-	301,992	463,524	53.5	-
奈良県	180,904	163,145	-9.8	43	155,355	253,921	63.4	7

図表1-13 都道府県別みた2006年と2011年間の介護従事者数（常勤換算）の変化

	常勤換算介護従事者数(万人)					増加率(%)	順位	
	2006	2007	2008	2009	2010			
	2011							
全国平均	16,598	17,607	18,411	19,182	19,278	20,501	23.5	-
奈良県	9,053	9,231	9,439	9,549	9,818	10,414	15.0	42

出所：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

現状のペースで福祉介護人材を確保していたのでは、福祉・介護人材の需要に供給が追いつかないことが懸念される。

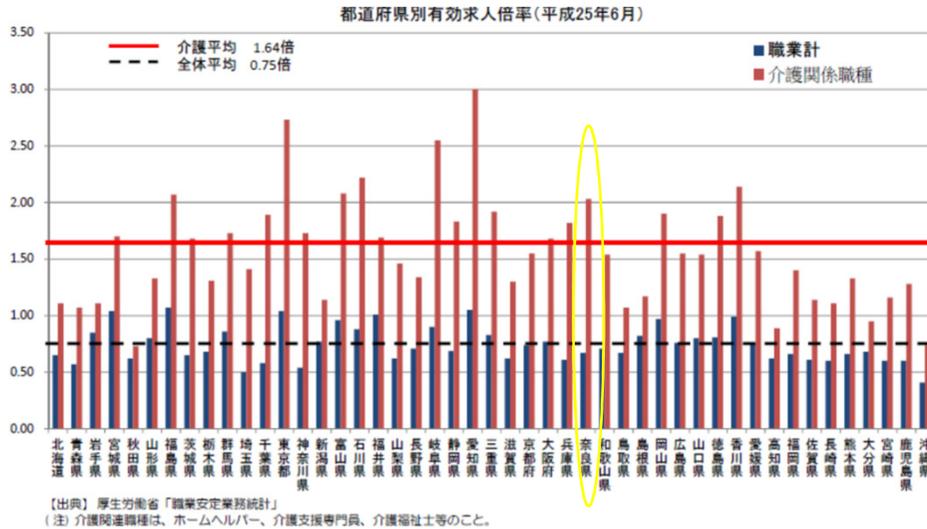
2025年に向けた介護人材にかかる需給推計(都道府県別)

都道府県	2013年度 (平成25年度) の介護職員数	2017年度(平成29年度)			2020年度(平成32年度)			2025年度(平成37年度)			需給ギャップ (D3-S3)
		需要見込み (D1)	現状推計シナリオ による供給見込み (S1)	充足率 (S1/D1)	需要見込み (D2)	現状推計シナリオ による供給見込み (S2)	充足率 (S2/D2)	需要見込み (D3)	現状推計シナリオ による供給見込み (S3)	充足率 (S3/D3)	
1 北海道	81,117	93,773	93,057	99.2%	98,923	96,390	97.4%	109,903	97,580	88.8%	12,323
2 青森県	22,090	28,120	25,991	92.4%	29,943	28,144	94.0%	32,218	30,811	95.6%	1,407
3 岩手県	19,069	26,711	23,130	86.6%	28,383	24,287	85.6%	29,775	24,851	83.5%	4,924
4 宮城県	28,041	34,879	29,447	84.4%	39,538	30,385	76.9%	45,532	31,396	69.0%	14,136
5 秋田県	19,621	23,566	22,227	94.3%	25,103	23,062	91.9%	26,018	23,275	89.5%	2,743
6 山形県	17,688	20,662	18,716	90.6%	21,779	19,106	87.7%	22,489	19,128	85.1%	3,361
7 福島県	25,654	34,061	28,867	84.8%	36,603	30,374	83.0%	38,306	32,149	83.9%	6,157
8 茨城県	33,060	40,830	36,541	89.5%	45,130	38,499	85.3%	50,807	40,673	80.1%	10,134
9 栃木県	21,317	25,799	23,109	89.6%	28,082	23,922	85.2%	31,293	24,428	78.1%	6,865
10 群馬県	28,518	36,372	30,602	84.1%	39,354	31,583	80.3%	43,806	32,205	73.5%	11,601
11 埼玉県	70,723	90,118	82,570	91.6%	101,829	88,130	86.5%	121,352	93,882	77.4%	27,470
12 千葉県	67,600	84,052	81,696	97.2%	96,592	87,420	90.5%	115,272	92,517	80.3%	22,755
13 東京都	154,609	195,780	181,410	92.7%	216,633	194,439	89.8%	243,701	207,950	85.3%	35,751
14 神奈川県	116,591	137,664	138,848	100.9%	153,815	148,410	96.5%	182,643	157,942	86.5%	24,701
15 新潟県	35,509	42,885	41,740	97.3%	45,970	43,617	94.9%	49,317	44,622	90.5%	4,695
16 富山県	15,296	18,635	16,041	86.1%	20,192	16,752	83.0%	21,721	17,810	82.0%	3,911
17 石川県	16,251	19,026	18,243	95.9%	20,183	18,969	94.0%	22,158	19,543	88.2%	2,615
18 福井県	11,774	11,274	10,200	90.5%	11,849	10,524	88.8%	12,458	10,686	85.8%	1,772
19 山梨県	10,737	13,244	12,277	92.7%	14,217	12,910	90.8%	15,364	13,647	88.8%	1,717
20 長野県	31,827	39,808	35,406	88.9%	42,818	36,869	86.1%	46,339	37,948	81.9%	8,391
21 岐阜県	27,140	32,563	30,133	92.5%	35,675	31,481	88.2%	39,559	32,441	82.0%	7,118
22 静岡県	45,419	53,195	50,448	94.8%	57,141	53,344	93.4%	65,077	56,575	86.9%	8,502
23 愛知県	81,136	101,763	92,301	90.7%	113,040	98,817	87.4%	131,852	107,461	81.5%	24,391
24 三重県	25,312	30,943	29,695	96.0%	33,633	31,477	93.6%	36,573	32,969	90.1%	3,604
25 滋賀県	16,034	19,968	18,853	94.4%	22,079	20,009	90.6%	24,674	21,202	85.9%	3,472
26 京都府	33,146	43,310	38,922	89.9%	46,329	41,863	90.4%	51,940	45,129	86.9%	6,811
27 大阪府	136,355	168,755	165,564	98.1%	190,623	176,305	92.5%	219,190	185,324	84.5%	33,866
28 兵庫県	77,495	94,448	85,782	90.8%	103,761	90,171	86.9%	117,817	95,314	80.9%	22,503
29 奈良県	19,982	22,700	22,700	89.8%	27,284	24,233	88.9%	31,019	26,521	85.5%	4,498
30 和歌山県	19,552	22,865	20,573	90.0%	23,451	20,967	89.4%	25,162	20,975	83.4%	4,187
31 鳥取県	9,895	10,586	10,168	96.1%	11,028	10,400	94.3%	11,541	10,634	92.1%	907
32 島根県	14,018	16,203	15,652	96.6%	16,493	16,276	98.7%	17,110	16,784	98.1%	326
33 岡山県	30,069	35,315	32,226	91.3%	36,560	33,160	90.7%	39,490	33,789	85.6%	5,701
34 広島県	43,162	50,331	47,650	94.7%	52,377	49,688	94.9%	58,970	52,021	88.2%	6,949
35 山口県	23,388	29,512	27,276	92.4%	31,010	28,554	92.1%	33,191	29,411	88.6%	3,780
36 徳島県	12,970	14,581	14,336	98.3%	14,809	14,365	97.0%	15,538	14,256	91.7%	1,282
37 香川県	14,009	17,110	15,891	92.9%	17,931	16,369	91.3%	18,940	16,593	87.6%	2,347
38 愛媛県	26,095	31,499	29,628	94.1%	33,193	31,000	93.4%	35,808	32,170	89.8%	3,638
39 高知県	12,779	14,828	14,236	96.0%	15,312	14,663	95.8%	15,644	14,743	94.3%	901
40 福岡県	70,253	80,021	79,455	99.3%	84,011	82,419	98.1%	94,314	84,257	89.3%	10,057
41 佐賀県	13,204	14,255	13,668	97.3%	14,326	14,129	98.6%	15,037	14,432	96.0%	605
42 長崎県	24,871	28,277	28,002	99.0%	28,539	28,744	100.7%	30,382	28,815	94.8%	1,567
43 熊本県	27,244	31,634	31,531	99.7%	32,958	32,836	99.6%	34,954	33,420	95.6%	1,534
44 大分県	20,022	21,231	21,255	100.1%	22,214	21,878	98.5%	23,401	22,186	94.8%	1,215
45 宮崎県	18,606	21,633	19,998	92.4%	23,041	20,457	88.8%	24,852	20,528	82.6%	4,324
46 鹿児島県	28,247	32,455	30,782	94.8%	33,481	32,140	96.0%	35,197	33,690	95.7%	1,507
47 沖縄県	15,246	18,482	16,584	89.7%	19,639	17,117	87.2%	22,039	17,696	80.3%	4,343
合計	1,707,743	2,078,300	1,953,627	94.0%	2,256,854	2,056,654	91.1%	2,529,743	2,152,379	85.1%	377,364

(資料出所) 2013(平成25)年度の推計: 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」(調査方法の変更等による回収率変動の影響を受けていることから厚生労働省(社会・援護局)にて補正)
2017(平成29)年度の推計: 国及び各都道府県の値ごとに回収率を踏まえた補正を行っているため、合計の値が一致しない
注1) 2013(平成25)年度の推計は国及び各都道府県の値ごとに回収率を踏まえた補正を行っているため、合計の値が一致しない
注2) 需要見込み、供給見込みの値は、いずれも通リハビテーションの職員数を含まない「医療・介護に係る長期推計(平成24年3月)」と同様の整理
注3) 需要見込みの値は、市町村により第1期介護保険事業計画に位置付けられたサービス見込みに基づく推計
注4) 供給見込みの値は、現状推計シナリオ(近年の入職、離職の動向に将来の人口動態を反映)による推計(平成27年度以降に追加的に取り組む新たな施策の効果は含んでいない)

2. 人材不足の状況について

○奈良県の有効求人倍率は、他職業は全体平均より低いにも関わらず、介護関係職種では介護平均より高い。



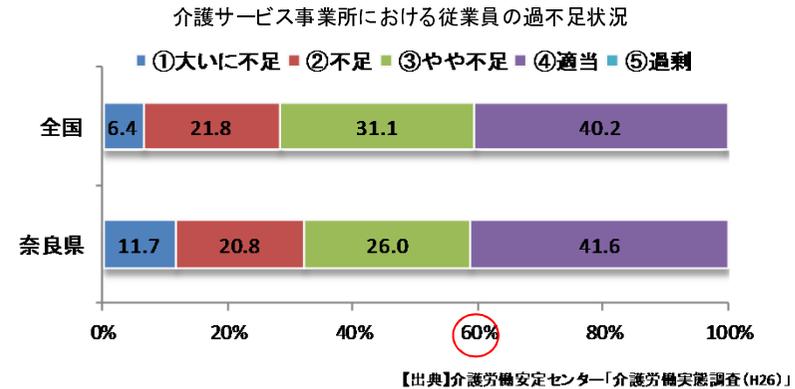
○福祉人材センターへの求人数は年々増加しているものの、求職者数については近年減少している。
採用人数については、H24年を境に減少している。



【出典】福祉人材センター



○雇用側において従業員の不足感が高くなっており、6割近くの事業者が不足感を感じている。特に不足感の高いのは、訪問介護員であり、奈良県では事業所の7割強が訪問介護員の不足を感じている。



介護サービス事業所における従業員の過不足状況

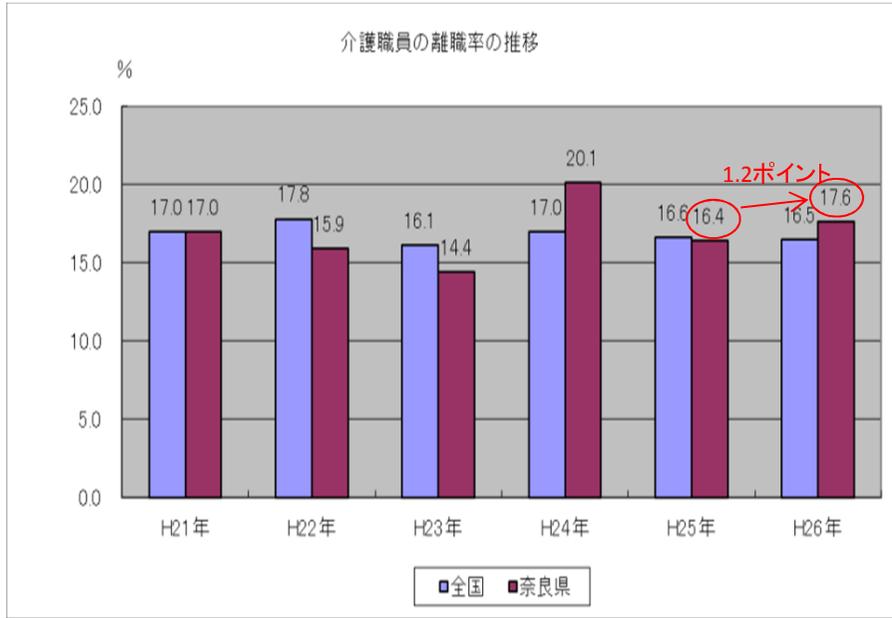
	H26 全国						H26 奈良県								
	回答事業所数	当該職種のある事業所数	①大いに不足	②不足	③やや不足	④適当	⑤過剰	①+②+③	④	⑤	不足感+再掲				
全体	8,260	6,230	6.4	21.8	31.1	40.2	0.4	59.3	77	11.7	20.8	26.0	41.6	-	58.4
訪問介護員	8,260	2,876	18.4	28.1	28.6	24.1	0.8	75.1	38	26.3	18.4	26.3	28.9	-	71.1
サービス提供責任者	8,260	2,489	3.5	9.1	13.9	72.3	1.2	26.5	33	-	15.2	9.1	72.7	3.0	24.2
介護職員	8,260	5,104	7.8	19.5	30.4	40.7	1.7	57.6	57	5.3	19.3	33.3	40.4	1.8	57.9
看護職員	8,260	4,504	7.0	13.5	23.7	54.3	1.5	44.2	52	11.5	15.4	17.3	53.8	1.9	44.2
生活相談員	8,260	3,694	1.2	4.7	12.2	81.1	0.7	18.1	41	-	7.3	12.2	80.5	-	19.5
PT・OT・ST等	8,260	1,803	3.6	8.5	20.6	66.3	1.1	32.7	19	5.3	15.8	36.8	42.1	-	57.9
介護支援専門員	8,260	3,944	2.3	6.4	15.9	73.8	1.6	24.6	53	1.9	1.9	20.8	71.7	3.8	24.5

【出典】介護労働安定センター「介護労働実態調査(H26)」

奈良県では、有効求人倍率が高く、事務所の人材不足感も高い。

3. 定着状況について

○H26年の奈良県の介護職員の離職率については、H25年より1.2ポイント増加している。
 就業形態では非正規職員で高く、職種では介護職員で高い。
 特に奈良県では、1年未満の非正規職員の離職率が高い。



【出典】介護労働安定センター「介護労働実態調査(H26)」

訪問介護員、介護職員の1年間(H25.10.1～H26.9.30)の採用率

	回答事業所数	採用率	離職率	増加率	離職者の内		
					1年未満の者	3年以上の者	
2職種合計	6,796	20.6	16.5	4.1	40.1	33.8	
就業形態別	正規職員	5,924	18.1	15.2	3.0	35.3	35.0
	非正規職員計	5,011	23.6	18.2	5.4	44.9	32.6
	常勤労働者	2,622	28.1	21.7	6.4	46.4	31.7
職種別	短時間労働者	4,534	22.0	16.9	5.1	44.2	33.0
	訪問介護員	2,794	18.0	14.0	4.0	39.4	35.0
介護職員	5,150	21.6	17.5	4.2	40.4	33.4	

【出典】介護労働安定センター「介護労働実態調査(H26)」

○奈良県では直前の介護の仕事をやめた理由について、「職場の人間関係に問題があったため」35.3%、「法人や施設・事業所の理念や運営のあり方に不満があったため」32.9%となっており、全国と比べて高くなっている。

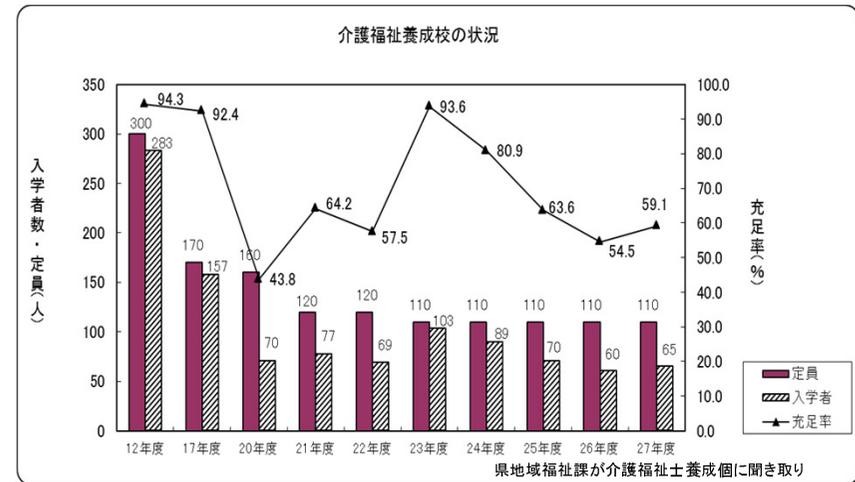
介護の仕事をやめた理由(複数回答)

	回答数	ため職場の人間関係に問題があった	法人や施設・事業所の理念や運営のあり方に不満があったため	他に良い仕事・職場があったため	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	新しい資格を取ったから	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	自分に向かない仕事だったため	病気・高齢のため	定年・雇用契約の満了のため	家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	その他
全国	6,637	26.6	22.7	18.8	18.3	15.9	10.0	8.5	6.4	4.6	4.1	3.7	3.4	13.3
正規職員	4,686	26.3	24.3	20.8	20.2	18.3	11.2	6.5	6.3	3.9	4.0	3.7	2.8	14.0
非正規職員	1,823	27.1	18.7	14.1	13.5	9.6	6.7	13.8	6.6	6.6	4.4	5.2	6.2	11.2
奈良	85	35.3	32.9	17.6	16.5	11.8	9.4	10.6	3.5	3.5	-	3.5	1.2	11.8

【出典】介護労働安定センター「介護労働実態調査(H26)」

4. 参入状況について

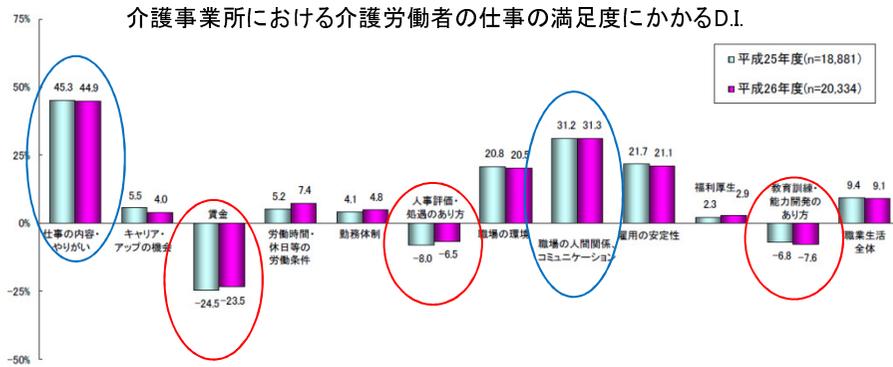
○介護福祉士養成校の入学者は減少してきており、高校生等が介護福祉士を目指していない状況である。



奈良県では離職率が高く、定着においても課題を抱えている。
 離職原因は人間関係や法人運営への不満によるものが多い。

5. 労働環境・処遇について

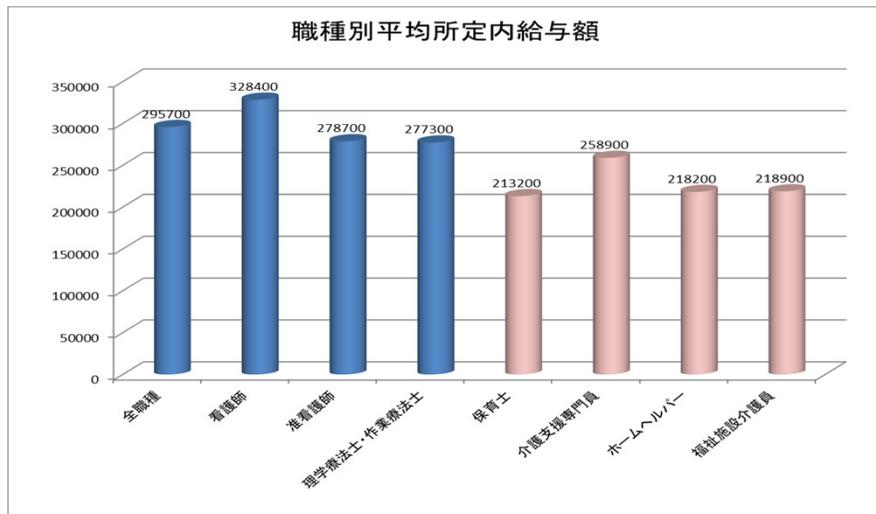
○仕事の満足度については、「仕事の内容・やりがい」や「職場の人間関係、コミュニケーション」では高いものの、「賃金」や「人事評価・処遇のあり方」「教育訓練・能力開発のあり方」では低くなっている。



(注) 満足度のD.I. = (満足の割合 + やや満足の割合) - (やや不満足の割合 + 不満足の割合)

【出典】介護労働安定センター「介護労働実態調査(H26)」

○職種別の平均給与額は、福祉・介護の職種の方が低くなっている。



【出典】厚生労働省 H25 賃金構造基本統計調査

○奈良県の事業所においては、従業員が不足している理由として「採用が困難である」と約7割の事業所が上げており、その原因として「賃金が低い」、「仕事が(身体的・精神的)にきつい」、「社会的評価が低い」と考えている。

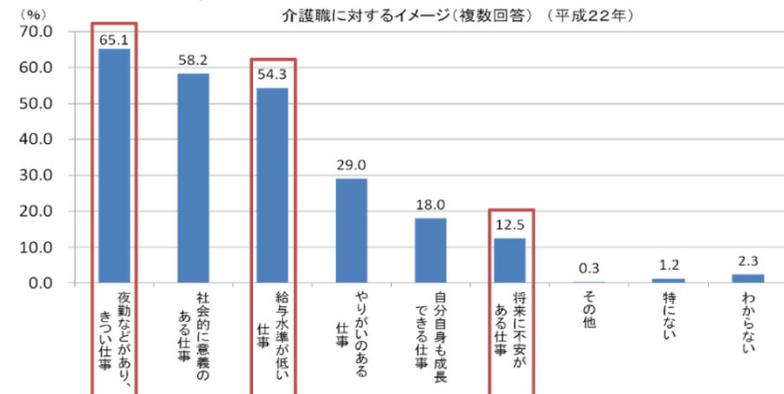
不足している理由 (複数回答) (%)					採用が困難である原因 (複数回答) (%)										
「不足している」と回答した事業所数	採用が困難である	事業を拡大できないが人材が確保できない	離職率が高い(定着率が低い)	その他	賃金が低い	仕事が(身体的・精神的)にきつい	社会的評価が低い	休みが取りにくい	雇用が不安定	夜勤が多い	機会が不十分	労働時間が長い	その他	わからない	
3,696	72.2	19.8	17.0	4.9	61.3	49.3	38.2	22.6	17.9	9.7	8.7	6.0	21.0	8.8	
45	68.9	40.0	13.3	2.2	31	67.7	45.2	41.9	19.4	16.1	3.2	9.7	3.2	19.4	9.7

(注) 「不足している」と回答した事業所 = 「太りに不足」 + 「不足」 + 「やや不足」

(注) 「不足している理由」として、「採用が困難である」と回答した事業所数

【出典】介護労働安定センター「介護労働実態調査(H26)」

○一般の人には、介護職に対するイメージとしては肯定的なイメージもある一方で、「夜勤などがあり、きつい仕事」、「給与水準が低い仕事」、「将来に不安がある仕事」など、マイナスイメージが生じている。



【出典】内閣府「介護保険制度に関する世論調査」(平成22年)

福祉・介護の仕事は、介護職員が仕事にやりがいを感じている一方、処遇や一般の人のイメージが良くない状況である。